

## 令和7年6月市長定例記者会見

日時：令和7年6月2日（月） 午前11時～

場所：射水市役所会議室401

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、朝日新聞、  
射水CATV、庄東タイムズ・ホットライン小杉

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、  
教育委員会事務局次長、公共施設マネジメント推進課長、  
保健センター所長、未来創造課長

Q1. 市長選挙について、5選に向けた意気込みや課題・取り組みたいことを教えていただきたい。

A1. 先日、後援会と資金管理団体の拡大役員会を開催した。その場で、役員の方々にこれまでの取組への支援を感謝し、成果があった取組や成果が出つつある取組、新たに見えてきた課題や未来に向けて進めるべき取組について説明した。そこで、11月の市長選挙に5選目として出馬したいという意向を示し、後援会・資金管理団体の役員から了承を得た。意気込みとしては、昨年の能登半島地震で被害を受けた市民の生活再建・公共インフラの復旧を進めることである。また、急激に進む少子高齢化や人口減少といった課題に対処し、これまでの経験を活かしながら、持続可能な地域社会の構築について取り組みたい。

Q2. 6月議会で議員に対し出馬を表明するのか。

A2. これまでも6月定例会の代表質問で質問を受け、答えていた。今回のように6月定例会の前に後援会や資金管理団体の拡大役員会を開催し、了承を得て議会で表明していたものである。従来通り、今定例会においても何らかの形で問われれば、市長選への思いを伝えたいと考えている。

Q3. 小泉進次郎農林水産大臣への期待を教えていただきたい。

A3. 小泉進次郎氏には、4月に後援会の特別講演に講師としてお越しいただいた。その後、急きょ、農林水産大臣に就任された。米の市場価格が昨

年の2倍以上に高騰している状況に対し、米の店頭価格を抑えるため、備蓄米の放出などの対策を精力的に講じておられる。物価高に賃金上昇が追いついておらず、まずは生活を落ち着かせるため、優れた行動力を発揮しながら、米の価格安定を進めていることは心強い。ただ、射水市も農業が基幹産業の1つである。消費者が納得する店頭価格だけではなく、生産者にとっても適切な価格設定を確立していただきたいと考える。

Q 4. アランマーレ富山のプレーオフについて、応援に行くのか。

A 4. 6月14日の準決勝は、公務で東京にいるため、現地で応援をする予定である。

Q 5. 放生津小学校の跡地利活用について、意見交換会は市と誰の意見交換を想定しているか。

A 5. 状況をみながら、詳細を詰めていくが、市民から意見を聞く予定である。事業者とはサウンディングで意見交換するつもりであるが、要望があれば事業者にも参加していただく可能性がある。

Q 6. 市長タウンミーティングについて、第1回「地域公共交通」は、なぜ大島で実施するのか。

A 6. 今年度の秋から「のるーと射水」の実証実験を市の北西・南西エリアで行う。それに向けた地域説明を行うにあたり、公共交通の課題について意見交換を行うためである。

Q 7. 第2回「こどもまんなか社会」の対象者を教えていただきたい。

A 7. 昨年のタウンミーティングにおいても、キッズポート射水で乳幼児に関する子育て支援について意見交換を行った。今回は、小学生・中学生がテーマである。もちろん、お子さんの参加も歓迎する。